夕刊
磐城日日
第1371号
夕刊（除日曜）
昭和30年6月23日 第三種郵便物認可
磐城日日
昭和30年8月12日（金曜日）
(1)

才五喜久丸救助のため
ソ聯代表部に交渉

磐城市江名坂本亀久松さん所有第五喜久丸（三六トン）乗組員十七名わ九日十一時四十分頃、中部千島ウルップ島北端の海岸で座礁遭難している事は昨報の通りであるが、一方地元江名救助会役員わ本日早朝、領海内に入り救助出来るようにすべく日本赤十字社を通じソ連代表部に依頼交渉のため上京した。

他方仝船主所有の第一喜久丸（六九とん）船長宮城県本吉郡唐桑町吉田武誉（乗組員十二名）わ小名浜海上保安部よりの指示によりくし路に直進、待機、ソと連絡のつき次第仝船わ救助に向う事になつてをり、船主家族わ救助の完了すると迄くし路に滞在している。

総工費千八百余萬円で
『商工会館』建設

平商工会議所（会頭山崎鬱助氏）では常磐地方商工業者の経済的総合施設の基本たらしむべく「商工会館」の建設を急いでいる。着工は去る五月上旬で、十一月下旬には竣工する豫定である。

この総工費は千八百二十五万円で防火建築補助金及び県、市補助金のほか商工会議所会員特別会費から千二百万円を拠出することになつている。

建設地は市内三十米道路南端の防火建築地帯で鉄筋コンクリート二階建、延一百三十三坪の豪華な近代的建築である。

これが完成の暁は市内の一偉容を誇るものがあるばかりでなく、常磐地区商工業者の高度の利用の点で地方産業並に商業経済に劃期的な役割をはたすものと期待が大きい。

一階は物産館に使用し、二階を事務室及び諸会議に利用出来るようになつている。

物産館には、常磐炭、日本水素肥料等を始め地方名産寒子、水産加工品に至るまで陳列し、産業の改善向上を期し、広くこれを紹介することになつており、これと併せて一般商品の展示室も設け、商品仕入についての調査、指導並にアッセン等商工会議所の機能を充分に発キ出来るものとして関係者からこの竣工を待望されている。

山崎会頭の商工会館運営についての抱負として

将来常磐地方総合開発と相まつて商工業者も総合的に経済安定を期するために最非とも商工会館を中心に地方商工会議所の連合会を創立し緊密提携を図つて行きたいと思う。

と語つている。

食糧関係職員会議

磐城市江名公民館永崎分館に於て十一日午前九時より石城郡下の食糧事務所職員が集り、麦類の鑑定技術の研修、麦類検査品の実態調査、菜種の検査や米コク売渡推進協議会設立状況を視察する等の協議を行つた。

県有林払下

本十二日午後一時県治山課渡辺主任技師が県行造林契約解除のために来市した。

これは昭和九年、磐城市字野田、林城及び常磐市字三沢（旧鹿島村字三沢）にくぬぎの県行造林を行つたが、くぬぎの生育が不良のため一町二反を払下げすることになつたものである。

渡邊地區野球大会

磐城市渡辺では恒例の盆休み十四、十五の両日を利用、同地区渡辺スポーツ協会（会長阿部広次）主催による軟式野球大会が渡辺中学校々庭に於て両日とも午前九時より開催されることになつた。

この野球大会は同地に於て例年行われているものであるが、本年は特に同地区スポーツ協会はもとより、渡辺公民館でも部落民の健全レクリエーションであるとところより、これに本腰を入れ後援することとなつた。

組合せは次の通りである。

【於渡辺中学校】

（十四日）

1、松小屋 対 上釜戸
2、下町 対 昼野
3、上町 対 洞口
4、泉田 対 中釜戸

（十五日）

5、1の勝者対2の勝者
6、3の勝者対4の勝者
7、5の勝者対6の勝者（決勝）

鹿島で農政講座

磐城市鹿島青年学級では、十三日午後一時三十分より鹿島小学校作法室に於て磐城市大浦農政課長を招き

1、市の農業施策
2、市農政の現況と将来の構想

について農政講座を行うことになつた。

才二運竣丸昨日進水

昨十一日午前九時第二運竣丸（一五トン）船主磐城市須賀町渡辺啓助氏）の竣工進水式が、同市小名浜造船所に於て行われた。同船は沿岸底曳に就業した。

民族地下タビ
〃運動靴
巨人ゴム靴
パックス石鹸
太鼓石鹸
平野粉石鹸
森永ミルク
代理店
勿来市植田町本町
高木吾一商店
電話植田160番

港祭県下強豪選抜野球大会
予想とファンへの願い

只野球児

恒例の港祭県下選抜軟式野球大会は昨報の如く組合せが決定しいよ〳〵明十三日より十二頭豪に依つて三日間の熱戦激斗が繰り展げられる。

Aブロックは昨年優勝の常磐湯本砿に磐南地区県体予選優勝の呉羽化学が対するが湯本は昨年同様ノンプロ硬式チームの主力を補充し連覇を目指して永山投手、藤咲三塁手、出沢（呉）外野手等を擁しての堅陣、しかし乍ら呉羽も本大会二年連覇の伝統を持つだけに易々と湯本の軍門に降るとは思えず早くも本大会第二戦より好カードで待望久しきビツクゲームの幕が斬つて落される訳でファンはヘキ頭より球趣を満喫出来る訳である。

この一戦は六一四で多少湯本に分ありとみる向きもあるが伯仲と言うのが妥当であろう。

吉浜好聞―大東相互の第一戦も平地区の名門と県中のダークホースの対戦であるだけに興味も一段とあり、第一戦に劣らぬ好カード。

第一戦の勝者には仝勿来市制施行と同時に旧勿来と植田との合流に依る強化であなどり難く、湯本、呉羽とでもゆめ油断の出来る相手ではない。

日本水素も近時とみに充実みなぎる坂、吉田のリードがよくナインをまとめてそつのないプレーを見せているが、投手力に乏しく辛じて等源がエースで、控えには副福、大森の二人きり、決勝迄の四戦を持ち耐えるに果して打撃がそれだけさえるかが疑問。

Aブロックは先ず第一戦の勝者が残るのではないかとの一般の予想は否めない。

Bブロックは鳳城小田炭砿、過般の炭砿予選で群雄をことごとく薙ぎたおして初の代表となり、来る二十七日より後楽園で行われる炭砿本大会に臨むことになつただけにやはりここ二チームを中心として覇をきそうことになろう。

こうしてみると先ず陣容と最近の戦績からみて、Aブロックは湯本、呉羽、古河好聞が、Bブロックは内郷、小名浜、小田あたりが準決勝に勝ち進むものと見られる。

しかし乍ら仝般的にみればどのチームにも長短はあり、実力伯仲で僅少差であるだけに投手のコンディションの如何が勝敗のカギともなり、一失が大事を逸する因ともならざると誰が言い切れよう、そこに又選抜大会としての興味と期待があり訳で強豪十二チームに依つてしのぎを削る仝十一試合はどの対戦も一つとして一方的に見られぬものだけにファンはこの三日間、第一戦から優勝戦の最後迄息を抜く暇が無い訳である。

県下の選抜強豪チームを迎えての真夏の球宴、好投、痛打、快走、美技いづれも拍手を以つて讃え、例え凡走逸失あろうとも罵声を以つて鞭打つことなく、一般観覧者も徒らに遠来チームの心迄を傷つけることのないようフエアーな態度で野球ファンとしての襟度を持して欲しいと希うものである。

農家の休日決定
上神白部落で

従来農民は年中無休で雨の日、風の日も休みなく農耕に従事、文字通りの重労働を行つて来ており、正月、お盆には若干の憩いをこの日に求めていたが、磐城市大字上神白部落（区長片寄千賀之助氏、公民館分館長伊藤宗治氏、青年会長加瀬喜一氏）では、これらの旧来の風習を切りすて、毎月一日十五日を農休日と定め、この休日に農民のレクリエーションや文化教育、農業技術の研修等を行い、新しい農村の建設に努力し合うことになつた。

潮流

江名の小学校は隣村且つ狭溢なので旧江名町時代「走出」地内に新築移転することに議決してあつた。

最初江名地区の中央であり、環境また学校として好適の地である「天が作」を予定したのであつたが土地交渉となると余りにも地価が高すぎ、難航に難航を重ねた結果はとう〳〵地主の諒解を得るに至らなかつた。

そのために「走出」地内建設と決定しその仮市に引き継がれて今日に至つている。

然しこゝは片寄り過ぎるとの非難もあり、その間現在の校地を拡張増築すれば経費も大いに節約出来るとして、現状維持を主張する人々も出て婦人会等から陳情書も出る騒ぎで、この学校敷地問題は容易に解決のしよ光も見えない様だ。

然るに最近に至つて理想的の予定敷地である「天が作」地内の地主の人々も、価格の点に於て妥協の可能性が生じて来た模様もあり地主との諒解さえ出来れば、もとよりとどこなら大局的に見て異議のない所なのだから、或は急転直下過去数年にわたつて紛糾し続けて来た学校敷地問題も一気に解決出来るかも知れない。

然しまだ江名地域の意見がまとまつたわけでなく、既に議決してある「走出」を強行しようとする者現校舎を中心とする現状維持派、更に理想的な「天が作」或はこれに代る適当な場所をさがせと主張する者、甲論乙駁の有様であるので「まあ時が自然に解決してくれるだろう」と教育委員会等でも与論の帰一するのを待つてる状態だこの江名地区自体の紛争で一番得をしているのは、小名浜、泉等の他方部であろう。

江名がもめている間にドン〳〵と学校増築をやつている。もつともつと長くもめていてくれゝばいゝと思つているらしい。

一番馬鹿を見るのが江名地区住民だ。

早くなんとか処置したらよかろう

▲

今日磐城警察署一階で救急法の講習会が行われていた。某新聞記者が、その内容を取材しようとして一寸後のドアを開けた途端、席に居た小林探偵長

「今会議中だから開けていかん」

と剣もホロロの云いつ振り。

記者君グツトシヤクに触つたものの、何か重大な秘密会議でもあるのかと署長室に行つて聞いて見ると斉藤署長

「いやなんでもない、講習会だ。参考になるから大いに聞いてくれ給い」

と云う。

何んのことだい、小林探偵長、この暑さ加減で頭が少しイカレているとみいる。でなけりや昔の警察官ぢやあるまいし、こんな非常識な言葉を吐く筈もなかろう。ちと気の毒な事ではある。

天氣予報

（今晩）北の風晴、のちくもり
（明日）北東の風、朝晩は曇がち日中は晴たり、曇つたり
（明後日）東の風曇がち時々雨

トラックのタイヤ盗まる

磐城市永崎、製材業酒井直恵氏所有の車庫に置いたトラックの後輪（タイヤ、リング共）二個が盗まれているのを十二日朝発見、江名警部補派出所に届出た。

小児科 内科 一般
木田診療所
磐城市蛭川南八一
第一中學校西側
電話五九七番

ソフトクリーム 氷水
松図屋
電話四二番

…ゆかたと單帯…
新しい獨想的な柄が
豊富に取揃えてあります
是非御一覧下さい
高級呉服と實用衣料
かみや
平本店 平市2丁目電256.2014
小名浜店 磐城市竹町電94
平本店 小名浜店

壽司 割烹
お座敷女中さん
二・三名至急求む
雷鮨
磐城市定西
電話一二番

10日―16日 大人100円
今日の映畫案内!!
総天然色 シネマスコープ
長い灰色の線
心優しき妻と友への限りなき愛情に生き抜た男の哀歓に満ちた感動の半生
タイロン・パワー
モーリン・オハラ
ジョン・フォード 監督
松竹映画 監督穂積利昌
この世の花
川喜田雄二・淡路恵子
水原真知子・片山明彦
金星座

北洋の豊漁をよそに 第十一開運丸かえる

北海道漁業協社所属の北洋船団（一丸）わ母船としても小さく、他の母船わ五、〇〇〇トン、七、〇〇〇トンと大きいが、それでさい操業二、三日にして、母船で処理出来なくなり、申し合せによつて一船から四、五〇〇尾を限度として其れ以外わ放漁する仕末だつたとの事である。

所属会社から、操業に従事するよう全船に連絡があつたが、ローリングが強く危険なので操業しなかつた。例年にない豊漁と他船の漁獲操業を目の前にして仕事を出来なかつたのわ非常に残念でしたと淋しそうに言葉を続けていた。

尚、最後の追込みを続けている北洋船団地元船わ、今月下旬北海道ワツカナイに帰港、船体整備後母港に向け帰航の途につく事になつている。

洋画展

十五日がう三日間

磐城市教育委員会主催で十五日より十七日までの三日間、小名浜公民館ホールに於て画展を開催することになつた。

同画展は中央画壇に活躍中の河原温喬、飯田司、池田静男、島村潔石井茂雄の各氏の出品十四点が展示される。

なお、入場は無料である。

江名公民館で 映写機購入

磐城市江名公民館江名分館（館長吉田勝彦氏）では一六ミリ和製映写機エルモAの二型（ホームトーキ付）一台を購入、十一日午前十時から試写会を同公民館で行つたが良好な成績であり、将来の視聴覚教育の振興に大きな役割を果すことになつた。

この購入代金は江名地区の婦人会青年会が主体となつて調達することになつているため同地区市民の協力が望まれている。

救急法講習会

本十二日午前九時より磐城警察署会議室に於て救急法講習会が行われた。

同講習会は警察署、教育委員会、赤十字社によつて企画され、同会員約四〇名が受講、人工呼吸、血止法等の救急法について講義があり、特に人口呼吸は従来ハーワード式人工呼吸法であつたが、今回ミルセン式人工呼吸法を採用することになつた。

なお、同講習の受講者はそれぐの所属に帰り救急法の指導員として、徹底を計ることになつたものである。

人形劇と映画会

勿来市錦町中田路台社宅では部落PTAの夏休み活動として、本十二日正午から呉羽化学錦工場グランドで人形劇を行つたが更に午後七時半からは水戸黄門其他の映画会を催する。

裏窓

近日上映 磐城座

奥薬市況

○青果 小名浜中央市場

卵二二、五〇―一一ねぎ九〇―五五玉ねぎ六五―四五人参九〇―二〇ごぼう一〇〇―五〇馬鈴薯四〇―二五さつま一〇〇―五〇里芋二〇〇―一〇〇大根三〇―一〇きゃべつ五〇―二〇きう四〇―一五なす七―一とまと一〇〇―五五か

○鮮魚 なし

渡り鳥いつ帰る

（近日上映 イワキ座）

五色の集い二日目の三十一日、自然と目を閉ざる。どの位過ぎたか、同行者の中に、なれない水等飲んだせいか、病人を出したが本部に薬等、備へてあつた為、大事に至らず次の日、午前中には回復した。

磐梯の小鳥は有名で、良くラジオなどでも録音されるが、実に素晴しい、遠く、近くで、カツコーが鳴く、すぐ頭の上でウグイスが鳴く、実に何とも言えない。裏磐梯独特のあの噴火口をも見た、雄大なあの山の姿、自然だ、これだから私は山が好きなのだ。

病人が出た為、見学が出来ないので、二日の予定で行つたのが、後一日のばすことにした、事務所には悪かつたが、勝手に許して貰う事にした。心配しているたろうと思う不安もあつたけれど。

五色の集いに参加して (1)

磐城商工会議所 高橋マサ子

私は生来、山が好きだ。海辺に住むから特にそう思うのかも知れないが、とに角山は好きだ。特に過去五年の間に昨年を除いては、今年で四年、裏磐梯に遊んでいるそれ程私は磐梯が楽しく感じられるのだ。

最も今年は磐梯よりむしろ、五色の集いの方が楽しかつたのかも知れない。「都会と農村を結ぶ平和の集い」これが五色の集いの大訳だそうだ。然し私が五色の集いに参加したと申しましても最初から参加する訳ではなかつたし、勿論、五色の集いたるものが、何の集いかも知らなかつた。只、私達が計画していた磐梯行が、図らずも五色の集いと同じ日になつてしまつたのだ。そして私達が入りたかつたビヤダルバンガロも、みんな五色の集いで予約済みとのこと故、止むを得ず、会費を払つて、ビヤダルの確保に努めただけだつた。然し五色の集いの本部なる所から、ビヤダルOKの返事が来た時はうれしかつた。そして待つた子供の様に当日を

当日三十日、朝一番で立つ、平に行つたら五色の集い浜通り班、常磐労組等の旗をひらめかして大勢が乗込んだ。口々に唄いながらも何となく変な感じを受けたが私達は皆なとは別な車輌に乗込んだ。名駅々で、参加する人達が乗込んで来た。みんな楽しそうだつた。

いざ猪苗代に着く。直ぐのバスだと十二時には目的地に着くのだがそこが団体のあわれさ、空腹と疲労にたえかね、内容の解せぬ五色の集いの団体に立腹した。

やがて十二時すぎ、バスに乗せられ私達の仮の宿、ビヤダルバンガロのある山の家に着いたが、又のそこで待たされた、暑いので、口なく五色の集いなるもの、本意がわかつて来た様で、楽しくなつて来た。昼間の不満も又疲れも感じられなかつた。御飯を食べて、隣りの方達の唄や踊りに興じている中、争はれぬもの、昼間の疲れが自然と目を閉ざる。どの位過ぎたか、同行者の中に、なれない水等飲んだせいか、病人を出したが本部に薬等、備へてあつた為、大事に至らず次の日、午前中には回復した。

磐梯の小鳥は有名で、良くラジオなどでも録音されるが、実に素晴しい、遠く、近くで、カツコーが鳴く、すぐ頭の上でウグイスが鳴く、実に何とも言えない。裏磐梯独特のあの噴火口をも見た、雄大なあの山の姿、自然だ、これだから私は山が好きなのだ。

病人が出た為、見学が出来ないので、二日の予定で行つたのが、後一日のばすことにした、事務所には悪かつたが、勝手に許して貰う事にした。心配しているたろうと思う不安もあつたけれど。

五色の集い二日目の三十一日、山とは云え又暑かつた。午後から山の家の広場で大交歓会が行われた、仮の舞台を作り、各きやんぷの人達が順次現われ、広場を埋める、岸旗江の流ちような司会によつて、交歓が進められる。

群馬交響楽団（こゝに泉ありのモデル楽団）石井バレー団、カチューシヤ楽団等の続く演奏に客サークルの唄の交歓等、私達は個人参加なので、唯感心して見、聞くだけだつた。勿論、唄えと云われても、何一つ披露も出来ないがあの交歓会は意義があつた。五時半迄かゝつたかな。帰つて夕飯を食べる。何もなくともおいしい、不思議な位だ。

改名披露
中央商店会
納涼大演芸会
★常磐炭礦音楽団二十数名来演
★有名NHK当選歌手数名
★三つの歌 素人のど自慢コンクール（入場者の方にて当日会場に申込み下さい）
米 余興 中央商店主のど自慢
景品山積
賣出し方法
1 百円お買い上の方に補助券一枚進呈します
2 補助券五枚で御入場出来ます
3 売出期間 八月六日から十三日まで（八日間）
演芸会場 第二小学校講堂、昼夜二回公演
楽しいお買物は
中央商店会
（旧西町商栄会）

吉田屋自轉車商會
吉田基一
同店員
磐城市字定西八九番
電話八九番

開業
勿来市窪田町田ノ口
外科 産婦人科
佐藤醫院
医師 佐藤儀英
電話勿来二三二番

求む 中島・中町地区商店向売家又は貸店舗
分譲 市役所附近・水泳正門前・宮下駅附近・大原街道附近・辨別地区・他宅地向多数
賣家 数軒あり
たけや 土地建物取引部
県公認ロ六九号 磐城市辰巳町（海水浴場前）
電話一四五番

徳球は琉球生れ
泡盛も琉球生れ
泡盛 三十五円
ジョッキ 八十円
小のせ

大映カラー総天然色
楊貴妃
皇帝と町の娘の悲恋物語
大映が再び築かんとするグランプリ映画の金字塔
京マチ子・森雅之
山村聰・南田洋子
製作 永田雅一ランランショウ
総天然色映画
サスカチワンの狼火
騎馬警官隊の活躍を画く傑作
アラン・ラッド
シエリ・ウインタース
13日まで
東宝 大日映活 専属
今日の映画案内
植田館

暑中お伺い
吉田屋自轉車商會
吉田基一
同店員
磐城市字定西八九番
電話八九番

チケットをどしどし御利用下さい
へ会店門専浜名小の揃った店舗良優の物買お
洋品・洋傘 子供服・メリヤス
タカノ洋品店
小名浜銀座
電話三三八番

最新式 検眼機装置の店
新流行レコードの店
内山時計店
中島 電話三七一番

本店 中島電話三〇七番
支店 第二小学校前
山田屋履物店

着る身になつて造る！ スタイルと技術の店！
丹野洋服店
定西一四四
電話一四四番

御贈答品には是非
銘菓
潮の華
和菓子司
國華堂
電話四六一番